

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年1月12日
長崎市立畝刈小学校
学校だよりNO.112
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～第3学期 始業式～

1月8日の第3学期始業式で、2年生と5年生の子供たちが代表の挨拶をしました。



2年生代表は、「かけ算九九をすべて言えるようになった」「暗唱で一番に合格したのでうれしい」「友達にふわふわ言葉を使っていろいろな人と仲良くなる」「3学期は漢字を丁寧に書き、覚えて、漢字マスターになりたい」

5年生代表は、「あと3か月で6年生になる」「6年生になってがんばっていくために、そろえる活動がんばる」「表情を豊かに、笑顔で明るい挨拶を心がける」と、自分の3学期の目標を決め、それに向けて努力することを全校の友達の前で誓いました。二人とも大変立派な挨拶でした。

2学期の終わりに「**将来の夢を考えてくる**」という宿題を出していました。宿題忘れがないか校内で出会った子供たちに聞いてみると、子供たちはうれしそうにそれぞれに自分の将来の夢を話していました。「**キックボクシングの世界チャンピオンになる**」「**野球選手になる**」夢をまだ考えていない子供たちの中には「**お勉強をがんばる**」という子供たちもいました。さすが畝刈小学校の子供たち、とても立派でした。

式の最後は全力校歌です。しばらく歌っていなかったためか、終業式と比べると少し元気のない歌声でした。今後も自分たちの学校の校歌、いつになっても口ずさむことのできる歌として今後も大切にしてもらいたいと思います。